

**Kit Components**

Product code	Description
<b>MZ300095</b>	<b>LCMS Caffeine kit in water</b>

Components:

MZ301235	STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML
MZ301236	STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML
MZ301237	STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML
MZ301238	STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

### 1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML
- ・製品コード MZ301235
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・会社名

PerkinElmer, Inc.  
710 Bridgeport Avenue  
Shelton, Connecticut 06484 USA  
CustomerCareUS@perkinelmer.com  
203-925-4600

PerkinElmer, Inc.  
2F, Hanamura Bldg., 1-12-6 Hatakaeki  
Higashi, Hakata-ku  
Fukuoka 812-0013  
Japan  
81-92-474-231

5F, CTK Bldg., 1-7-17 Kandaizumi-cho, Chiyoda-ku  
Tokyo 101-0024  
81-3-3866-2647  
Japan

- ・住所 81-92-473-7001
- ・緊急通報用電話番号:  
CHEMTREC (within US) 800-424-9300  
CHEMTREC (from outside US) +1 703-527-3887 (call collect)  
CHEMTREC (within AU) +(61)-290372994
- ・使い方: 推奨用途及び使用上の制限試験研究用試薬

### 2 危険有害性の要約

- ・純物質または混合物の分類  
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類されていません。

- ・ラベル要素
- ・GHS ラベル要素 無効
- ・危険図表 無効
- ・表示語 無効
- ・危険文句 無効
- ・その他の危険性

プロダクトには有機化合物のハロゲン化合物 (AOX)、窒素、重金属化合物およびホルムアルデヒドが含まれていない

- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

JP

(2ページに続く)

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(1ページの続き)

### 3 組成及び成分情報

- ・化学的特性: 混合物
- ・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物
- ・危険な含有成分: 無効

### 4 応急措置

- ・応急手当処置に関する説明
- ・吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- ・皮膚に付着した場合 一般的にはこの製品は皮膚には刺激はない
- ・目に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ
- ・飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・最も重要な急性及び慢性の症状及び影響 追加的な関連情報は得られていません。
- ・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

### 5 火災時の措置

- ・消火剤
- ・消火剤 周囲の状況に合わせた消火措置を取る
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。

### 6 漏出時の措置

- ・個人的予防措置、保護具及び応急処置法 必要ない
- ・環境関連予防措置:
  - 河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
  - 下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
  - 液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
- ・他のセクションへの言及
  - 安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
  - 人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
  - 廃棄処分に関しては 13 項参照

### 7 取扱い及び保管上の注意

- ・技術的対策
  - 接触回避などの安全取扱い注意事項
- ・安全操作のための予防措置 特別な措置は必要ない
- ・火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管:
  - 局所排気・全体換気 特別な要求事項なし
  - 同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない

(3ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(2ページの続き)

- ・保管条件に関するその他の注意事項: ない
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

## 8ばく露防止及び保護措置

- ・設備対策 その他の申し立てなし、7項参照
- ・管理パラメーター
- ・許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)  
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・暴露管理
- ・保護具
- ・衛生対策 化学製品を取り扱う際の一般的な注意事項を厳守のこと
- ・呼吸器の保護具 必要ない
- ・手の保護具  
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない  
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する
- ・手袋材  
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- ・手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護: 詰め替えの際には保護めがねの装着が望ましい

## 9 物理的及び化学的性質

- ・基本的な物理及び化学特性に関する情報
- ・一般指示事項
- ・外観
 

外観(物理的状态 色など)	液体 透明
臭い	無臭
嗅覚閾値	決まっていない。
- ・pH-値: 決まっていない。
- ・融点・凝固点
 

融点/融解範囲:	決まっていない
沸点、初留点及び沸騰範囲	100 °C
- ・引火点 情報なし
- ・燃焼性(固体、ガス) 情報なし
- ・分解温度: 決まっていない。
- ・自然発火性: プロダクトは自然発火しない
- ・蒸気圧 情報なし  
プロダクトは爆発する危険はない  
決まっていない。

(4ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(3ページの続き)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃焼又は爆発範囲の上限・下限</li> <li>  下限: 決まっていない。</li> <li>  上限: 決まっていない。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気圧 約 20 °C</li> </ul>	23 hPa
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約 20 °C</li> <li>・ 比重(相対密度)</li> <li>・ 蒸気密度</li> <li>・ 蒸発速度</li> </ul>	1.00023 g/cm <sup>3</sup> 決まっていない。 決まっていない。 決まっていない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶解度</li> <li>  水:</li> </ul>	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配係数 (n-オクタノール/水):</li> </ul>	決まっていない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘性:</li> <li>  力学的:</li> <li>  運動性:</li> </ul>	決まっていない。 決まっていない。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶剤含有量:</li> <li>  水:</li> </ul>	99.9 %
<ul style="list-style-type: none"> <li>  固形物含有量:</li> <li>  他の情報</li> </ul>	0.1 % 追加的な関連情報は得られていません。

## 10 安定性及び反応性

- ・ 反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 化学的安定性
- ・ 熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・ 危険反応の可能性 危険な反応は起きていない
- ・ 避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 不適合物質: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 危険な分解生成物: 危険な分解プロダクトはない

## 11 有害性情報

- ・ 毒性的影響に関する情報
- ・ 急性毒性
- ・ 初期刺激作用:
- 皮膚腐食性・刺激性 刺激作用はない
- 眼に対する重篤な損傷 刺激はない
- 呼吸器感作性又は皮膚感作性 感作作用はない
- ・ 毒性に関する補足注意事項:  
 調査に関する E U の最新の一般分類ガイドラインの計算方式によれば、プロダクトには分類義務はない  
 我々の経験並びに我々に提供された情報によれば、専門家知識を持って規定に従った使いかたをした場合には健康に  
 影響を及ぼす作用はない

JP  
(5ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(4ページの続き)

## 12 環境影響情報

- ・ 毒性
- ・ 水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 環境システムにおける作用:
- ・ 生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・ 一般注意事項: 一般に水の危険要因ではない
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・ vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・ 他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

## 13 廃棄上の注意

- ・ 廃棄物処理方法
- ・ 勧告: 少量なら、家庭ゴミと共に処分することができる
- ・ 汚染容器及び包装
- ・ 勧告: 関係当局の規則に従って処分する

## 14 輸送上の注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連番号</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連出荷正式名</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送の危険性クラス</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> <li>・ 分類</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器等級</li> <li>・ ADR, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋汚染物質</li> <li>・ 海の汚染物質:</li> </ul>	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザー用特別予防措置</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルポール条約(MARPOL73/78) 付属書II及びIBCコードに準じたバルク輸送</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UN "模範規制:</li> </ul>	Non regulated according to above specifications. 無効

JP  
(6ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(5ページの続き)

### 15 適用法令

・ 該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律		
7732-18-5	Water	99.9%
58-08-2	カフェイン	⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302 0.1%
・ 化審法		
・ 既存化学物質		
58-08-2	カフェイン	9-419
・ 特定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 優先評価化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 白物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 既存化学物質安全性点検結果(毒性)		
内容成分はリストアップされていない		
・ PRTR Class 1 designated substances PRTR 制度 - 第一種指定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ PRTR Class 2 designated substances PRTR 制度 - 第二種指定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Deleterious Substances 毒物及び劇物取締法 - 劇物		
内容成分はリストアップされていない		
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Poisonous Substances 毒物及び劇物取締法 - 毒物		
内容成分はリストアップされていない		
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Specified Poisonous Substances 毒物及び劇物取締法 - 特定毒物		
内容成分はリストアップされていない		
・ 労働安全衛生法		
・ 危険物		
・ 爆発性の物(施行令別表第1第1号)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 発火性の物(施行令別表第1第2号)		
内容成分はリストアップされていない		

(7ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(6ページの続き)

・酸化性の物(施行令別表第1第3号)
内容成分はリストアップされていない
・引火性の物(施行令別表第1第4号)
内容成分はリストアップされていない
・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)
内容成分はリストアップされていない
・特定化学物質等
・第一類物質
内容成分はリストアップされていない
・第二類物質
内容成分はリストアップされていない
・第三類物質
内容成分はリストアップされていない
・名称等を通知すべき有害物(別表第9)
内容成分はリストアップされていない
・製造許可物質
内容成分はリストアップされていない
・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)
内容成分はリストアップされていない
・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)
内容成分はリストアップされていない
・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2)
・第一種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第二種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第三種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・強い変異原性が認められた化学物質
内容成分はリストアップされていない

・国内規定:

・使用上の制約に関する注意事項:

被用者はこの危険成分に暴露されてはならない。ただし、場合に応じて関係当局が例外許可をおろすこともある

・水質危険等級: 一般に水に有害ではない

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示も行うものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危

(8ページに続く)



JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1000 PG/UL 2ML

(7ページの続き)  
険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。PerkinElmer Health Sciences, Incは、本製品の取扱又は接触到に起因する損害につき責任を負いません。

・データシート作成部門: Environmental, Health and Safety

・問い合わせ先:

Within the USA: 1-(800)-762-4000

Outside the USA: 1-(203)-712-8488

JP

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

### 1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML
- ・製品コード MZ301236
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・会社名

PerkinElmer, Inc.  
710 Bridgeport Avenue  
Shelton, Connecticut 06484 USA  
CustomerCareUS@perkinelmer.com  
203-925-4600

PerkinElmer, Inc.  
2F, Hanamura Bldg., 1-12-6 Hatakaeki  
Higashi, Hakata-ku  
Fukuoka 812-0013  
Japan  
81-92-474-231

5F, CTK Bldg., 1-7-17 Kandaizumi-cho, Chiyoda-ku  
Tokyo 101-0024  
81-3-3866-2647  
Japan

- ・住所 81-92-473-7001
- ・緊急通報用電話番号:  
CHEMTREC (within US) 800-424-9300  
CHEMTREC (from outside US) +1 703-527-3887 (call collect)  
CHEMTREC (within AU) +(61)-290372994
- ・使い方: 推奨用途及び使用上の制限試験研究用試薬

### 2 危険有害性の要約

- ・純物質または混合物の分類  
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類されていません。

- ・ラベル要素
- ・GHS ラベル要素 無効
- ・危険図表 無効
- ・表示語 無効
- ・危険文句 無効
- ・その他の危険性

プロダクトには有機化合物のハロゲン化合物 (AOX)、窒素、重金属化合物およびホルムアルデヒドが含まれていない

- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

JP

(2ページに続く)

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(1ページの続き)

### 3 組成及び成分情報

- ・化学的特性: 混合物
- ・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物
- ・危険な含有成分: 無効

### 4 応急措置

- ・応急手当処置に関する説明
- ・吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- ・皮膚に付着した場合 一般的にはこの製品は皮膚には刺激はない
- ・目に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ
- ・飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・最も重要な急性及び慢性の症状及び影響 追加的な関連情報は得られていません。
- ・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

### 5 火災時の措置

- ・消火剤
- ・消火剤 周囲の状況に合わせた消火措置を取る
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。

### 6 漏出時の措置

- ・個人的予防措置、保護具及び応急処置法 必要ない
- ・環境関連予防措置:
  - 河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
  - 下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
  - 液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
- ・他のセクションへの言及
  - 安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
  - 人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
  - 廃棄処分に関しては 13 項参照

### 7 取扱い及び保管上の注意

- ・技術的対策
  - 接触回避などの安全取扱い注意事項
- ・安全操作のための予防措置 特別な措置は必要ない
- ・火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管:
  - 局所排気・全体換気 特別な要求事項なし
  - 同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない

(3ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(2ページの続き)

- ・保管条件に関するその他の注意事項: ない
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

### 8ばく露防止及び保護措置

- ・設備対策 その他の申し立てなし、7項参照
- ・管理パラメーター
- ・許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)  
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・暴露管理
- ・保護具
- ・衛生対策 化学製品を取り扱う際の一般的な注意事項を厳守のこと
- ・呼吸器の保護具 必要ない
- ・手の保護具  
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない  
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する
- ・手袋材  
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- ・手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護: 詰め替えの際には保護めがねの装着が望ましい

### 9 物理的及び化学的性質

- ・基本的な物理及び化学特性に関する情報
- ・一般指示事項
- ・外観
 

外観(物理的状态 色など)	液体 透明
臭い	無臭
嗅覚閾値	決まっていない。
- ・pH-値: 決まっていない。
- ・融点・凝固点
 

融点/融解範囲:	決まっていない
沸点、初留点及び沸騰範囲	100 °C
- ・引火点 情報なし
- ・燃焼性(固体、ガス) 情報なし
- ・分解温度: 決まっていない。
- ・自然発火性: プロダクトは自然発火しない
- ・蒸気圧  
プロダクトは爆発する危険はない  
決まっていない。

(4ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(3ページの続き)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼又は爆発範囲の上限・下限</li> <li>  下限: 決まっている。</li> <li>  上限: 決まっている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気圧 約 20 °C</li> </ul>	23 hPa
<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 20 °C</li> <li>・比重(相対密度)</li> <li>・蒸気密度</li> <li>・蒸発速度</li> </ul>	1.00002 g/cm <sup>3</sup> 決まっている。 決まっている。 決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶解度</li> <li>  水:</li> </ul>	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配係数 (n-オクタノール/水):</li> </ul>	決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘性:</li> <li>  力学的:</li> <li>  運動性:</li> </ul>	決まっている。 決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶剤含有量:</li> <li>  水:</li> <li>・他の情報</li> </ul>	100.0 % 追加的な関連情報は得られていません。

## 10 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険反応の可能性 危険な反応は起きていない
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・不適合物質: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・危険な分解生成物: 危険な分解プロダクトはない

## 11 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性
- ・初期刺激作用:
- ・皮膚腐食性・刺激性 刺激作用はない
- ・眼に対する重篤な損傷 刺激はない
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 感作作用はない
- ・毒性に関する補足注意事項:  
調合に関する E U の最新の一般分類ガイドラインの計算方式によれば、プロダクトには分類義務はない  
我々の経験並びに我々に提供された情報によれば、専門家知識を持って規定に従った使いかたをした場合には健康に影響を及ぼす作用はない

JP  
(5ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(4ページの続き)

## 12 環境影響情報

- ・ 毒性
- ・ 水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 環境システムにおける作用:
- ・ 生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・ 一般注意事項: 一般に水の危険要因ではない
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・ vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・ 他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

## 13 廃棄上の注意

- ・ 廃棄物処理方法
- ・ 勧告: 少量なら、家庭ゴミと共に処分することができる
- ・ 汚染容器及び包装
- ・ 勧告: 関係当局の規則に従って処分する

## 14 輸送上の注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連番号</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連出荷正式名</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送の危険性クラス</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> <li>・ 分類</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器等級</li> <li>・ ADR, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋汚染物質</li> <li>・ 海の汚染物質:</li> </ul>	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザー用特別予防措置</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルポール条約(MARPOL73/78) 付属書II及びIBCコードに準じたバルク輸送</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UN "模範規制:</li> </ul>	Non regulated according to above specifications. 無効

JP  
(6ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(5ページの続き)

15 適用法令

・ 該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律		
7732-18-5	Water	99.99%
58-08-2	カフェイン	⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302 0.01%
・ 化審法		
・ 既存化学物質		
58-08-2	カフェイン	9-419
・ 特定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 優先評価化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 白物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ 既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 既存化学物質安全性点検結果(毒性)		
内容成分はリストアップされていない		
・ PRTR Class 1 designated substances PRTR 制度 - 第一種指定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ PRTR Class 2 designated substances PRTR 制度 - 第二種指定化学物質		
内容成分はリストアップされていない		
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Deleterious Substances 毒物及び劇物取締法 - 劇物		
内容成分はリストアップされていない		
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Poisonous Substances 毒物及び劇物取締法 - 毒物		
内容成分はリストアップされていない		
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Specified Poisonous Substances 毒物及び劇物取締法 - 特定毒物		
内容成分はリストアップされていない		
・ 労働安全衛生法		
・ 危険物		
・ 爆発性の物(施行令別表第1第1号)		
内容成分はリストアップされていない		
・ 発火性の物(施行令別表第1第2号)		
内容成分はリストアップされていない		

(7ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(6ページの続き)

・酸化性の物(施行令別表第1第3号)
内容成分はリストアップされていない
・引火性の物(施行令別表第1第4号)
内容成分はリストアップされていない
・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)
内容成分はリストアップされていない
・特定化学物質等
・第一類物質
内容成分はリストアップされていない
・第二類物質
内容成分はリストアップされていない
・第三類物質
内容成分はリストアップされていない
・名称等を通知すべき有害物(別表第9)
内容成分はリストアップされていない
・製造許可物質
内容成分はリストアップされていない
・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)
内容成分はリストアップされていない
・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)
内容成分はリストアップされていない
・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2)
・第一種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第二種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第三種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・強い変異原性が認められた化学物質
内容成分はリストアップされていない

・国内規定:

・使用上の制約に関する注意事項:

被用者はこの危険成分に暴露されてはならない。ただし、場合に応じて関係当局が例外許可をおろすこともある

・水質危険等級: 一般に水に有害ではない

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示も行うものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危

(8ページに続く)



JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 100 PG/UL 2ML

(7ページの続き)  
険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。PerkinElmer Health Sciences, Incは、本製品の取扱又は接触到に起因する損害につき責任を負いません。

・データシート作成部門: Environmental, Health and Safety

・問い合わせ先:

Within the USA: 1-(800)-762-4000

Outside the USA: 1-(203)-712-8488

JP

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

### 1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML
- ・製品コード MZ301237
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・会社名

PerkinElmer, Inc.  
710 Bridgeport Avenue  
Shelton, Connecticut 06484 USA  
CustomerCareUS@perkinelmer.com  
203-925-4600

PerkinElmer, Inc.  
2F, Hanamura Bldg., 1-12-6 Hatakaeki  
Higashi, Hakata-ku  
Fukuoka 812-0013  
Japan  
81-92-474-231

5F, CTK Bldg., 1-7-17 Kandaizumi-cho, Chiyoda-ku  
Tokyo 101-0024  
81-3-3866-2647  
Japan

- ・住所 81-92-473-7001
- ・緊急通報用電話番号:  
CHEMTREC (within US) 800-424-9300  
CHEMTREC (from outside US) +1 703-527-3887 (call collect)  
CHEMTREC (within AU) +(61)-290372994
- ・使い方: 推奨用途及び使用上の制限試験研究用試薬

### 2 危険有害性の要約

- ・純物質または混合物の分類  
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類されていません。

- ・ラベル要素
- ・GHS ラベル要素 無効
- ・危険図表 無効
- ・表示語 無効
- ・危険文句 無効
- ・その他の危険性

プロダクトには有機化合物のハロゲン化合物 (AOX)、窒素、重金属化合物およびホルムアルデヒドが含まれていない

- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

JP

(2ページに続く)

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(1ページの続き)

### 3 組成及び成分情報

- ・化学的特性: 混合物
- ・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物
- ・危険な含有成分: 無効

### 4 応急措置

- ・応急手当処置に関する説明
- ・吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- ・皮膚に付着した場合 一般的にはこの製品は皮膚には刺激はない
- ・目に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ
- ・飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・最も重要な急性及び慢性の症状及び影響 追加的な関連情報は得られていません。
- ・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

### 5 火災時の措置

- ・消火剤
- ・消火剤 周辺の状況に合わせた消火措置を取る
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。

### 6 漏出時の措置

- ・個人的予防措置、保護具及び応急処置法 必要ない
- ・環境関連予防措置:
  - 河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
  - 下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
  - 液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
- ・他のセクションへの言及
  - 安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
  - 人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
  - 廃棄処分に関しては 13 項参照

### 7 取扱い及び保管上の注意

- ・技術的対策
  - 接触回避などの安全取扱い注意事項
- ・安全操作のための予防措置 特別な措置は必要ない
- ・火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管:
  - 局所排気・全体換気 特別な要求事項なし
  - 同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない

(3ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(2ページの続き)

- ・保管条件に関するその他の注意事項: ない
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

## 8ばく露防止及び保護措置

- ・設備対策 その他の申し立てなし、7項参照
- ・管理パラメーター
- ・許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)  
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・暴露管理
- ・保護具
- ・衛生対策 化学製品を取り扱う際の一般的な注意事項を厳守のこと
- ・呼吸器の保護具 必要ない
- ・手の保護具  
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない  
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する
- ・手袋材  
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- ・手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護: 詰め替えの際には保護めがねの装着が望ましい

## 9 物理的及び化学的性質

- ・基本的な物理及び化学特性に関する情報
- ・一般指示事項
- ・外観
 

外観(物理的状态 色など)	液体 透明
臭い	無臭
嗅覚閾値	決まっていない。
- ・pH-値: 決まっていない。
- ・融点・凝固点
 

融点/融解範囲:	決まっていない
沸点、初留点及び沸騰範囲	100 °C
- ・引火点 情報なし
- ・燃焼性(固体、ガス) 情報なし
- ・分解温度: 決まっていない。
- ・自然発火性: プロダクトは自然発火しない
- ・蒸気圧  
プロダクトは爆発する危険はない  
決まっていない。

(4ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(3ページの続き)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 燃焼又は爆発範囲の上限・下限</li> <li>  下限: 決まっている。</li> <li>  上限: 決まっている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 蒸気圧 約 20 °C</li> </ul>	23 hPa
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 約 20 °C</li> <li>・ 比重(相対密度)</li> <li>・ 蒸気密度</li> <li>・ 蒸発速度</li> </ul>	1 g/cm <sup>3</sup> 決まっている。 決まっている。 決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶解度</li> <li>  水:</li> </ul>	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 分配係数 (n-オクタノール/水):</li> </ul>	決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 粘性:</li> <li>  力学的:</li> <li>  運動性:</li> </ul>	決まっている。 決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 溶剤含有量:</li> <li>  水:</li> <li>・ 他の情報</li> </ul>	100.0 % 追加的な関連情報は得られていません。

## 10 安定性及び反応性

- ・ 反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 化学的安定性
- ・ 熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・ 危険反応の可能性 危険な反応は起きていない
- ・ 避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 不適合物質: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 危険な分解生成物: 危険な分解プロダクトはない

## 11 有害性情報

- ・ 毒性学的影響に関する情報
- ・ 急性毒性
- ・ 初期刺激作用:
- ・ 皮膚腐食性・刺激性 刺激作用はない
- ・ 眼に対する重篤な損傷 刺激はない
- ・ 呼吸器感作性又は皮膚感作性 感作作用はない
- ・ 毒性に関する補足注意事項:  
 調査に関する E U の最新の一般分類ガイドラインの計算方式によれば、プロダクトには分類義務はない  
 我々の経験並びに我々に提供された情報によれば、専門家知識を持って規定に従った使いかたをした場合には健康に  
 影響を及ぼす作用はない

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(4ページの続き)

## 12 環境影響情報

- ・ 毒性
- ・ 水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 環境システムにおける作用:
- ・ 生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・ 一般注意事項: 一般に水の危険要因ではない
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・ vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・ 他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

## 13 廃棄上の注意

- ・ 廃棄物処理方法
- ・ 勧告: 少量なら、家庭ゴミと共に処分することができる
- ・ 汚染容器及び包装
- ・ 勧告: 関係当局の規則に従って処分する

## 14 輸送上の注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連番号</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連出荷正式名</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送の危険性クラス</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> <li>・ 分類</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器等級</li> <li>・ ADR, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋汚染物質</li> <li>・ 海の汚染物質:</li> </ul>	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザー用特別予防措置</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルポール条約(MARPOL73/78) 付属書II及びIBCコードに準じたバルク輸送</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UN "模範規制:</li> </ul>	Non regulated according to above specifications. 無効

(6ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(5ページの続き)

### 15 適用法令

・ 該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律			
7732-18-5	Water		99.999%
58-08-2	カフェイン	⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302	0.001%
・ 化審法			
・ 既存化学物質			
58-08-2	カフェイン		9-419
・ 特定化学物質			
内容成分はリストアップされていない			
・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質			
内容成分はリストアップされていない			
・ 優先評価化学物質			
内容成分はリストアップされていない			
・ 白物質			
内容成分はリストアップされていない			
・ 既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)			
内容成分はリストアップされていない			
・ 既存化学物質安全性点検結果(毒性)			
内容成分はリストアップされていない			
・ PRTR Class 1 designated substances PRTR 制度 - 第一種指定化学物質			
内容成分はリストアップされていない			
・ PRTR Class 2 designated substances PRTR 制度 - 第二種指定化学物質			
内容成分はリストアップされていない			
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Deleterious Substances 毒物及び劇物取締法 - 劇物			
内容成分はリストアップされていない			
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Poisonous Substances 毒物及び劇物取締法 - 毒物			
内容成分はリストアップされていない			
・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Specified Poisonous Substances 毒物及び劇物取締法 - 特定毒物			
内容成分はリストアップされていない			
・ 労働安全衛生法			
・ 危険物			
・ 爆発性の物(施行令別表第1第1号)			
内容成分はリストアップされていない			
・ 発火性の物(施行令別表第1第2号)			
内容成分はリストアップされていない			

(7ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(6ページの続き)

・酸化性の物(施行令別表第1第3号)
内容成分はリストアップされていない
・引火性の物(施行令別表第1第4号)
内容成分はリストアップされていない
・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)
内容成分はリストアップされていない
・特定化学物質等
・第一類物質
内容成分はリストアップされていない
・第二類物質
内容成分はリストアップされていない
・第三類物質
内容成分はリストアップされていない
・名称等を通知すべき有害物(別表第9)
内容成分はリストアップされていない
・製造許可物質
内容成分はリストアップされていない
・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)
内容成分はリストアップされていない
・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)
内容成分はリストアップされていない
・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2)
・第一種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第二種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第三種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・強い変異原性が認められた化学物質
内容成分はリストアップされていない
・国内規定:
・使用上の制約に関する注意事項: 被用者はこの危険成分に暴露されてはならない。ただし、場合に応じて関係当局が例外許可をおろすこともある
・水質危険等級: 一般に水に有害ではない
・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示も行うものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危

(8ページに続く)



JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 10 PG/UL 2ML

(7ページの続き)  
険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。PerkinElmer Health Sciences, Incは、本製品の取扱又は接触到に起因する損害につき責任を負いません。

・データシート作成部門: Environmental, Health and Safety

・問い合わせ先:

Within the USA: 1-(800)-762-4000

Outside the USA: 1-(203)-712-8488

JP

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

### 1 化学品及び会社情報

- ・製品識別子
- ・化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML
- ・製品コード MZ301238
- ・該当純物質または混合物の関連特定用途及び使用禁止用途 追加的な関連情報は得られていません。
- ・安全データシートの供給元の詳細情報
- ・会社名

PerkinElmer, Inc.  
710 Bridgeport Avenue  
Shelton, Connecticut 06484 USA  
CustomerCareUS@perkinelmer.com  
203-925-4600

PerkinElmer, Inc.  
2F, Hanamura Bldg., 1-12-6 Hatakaeki  
Higashi, Hakata-ku  
Fukuoka 812-0013  
Japan  
81-92-474-231

5F, CTK Bldg., 1-7-17 Kandaizumi-cho, Chiyoda-ku  
Tokyo 101-0024  
81-3-3866-2647  
Japan

- ・住所 81-92-473-7001
- ・緊急通報用電話番号:  
CHEMTREC (within US) 800-424-9300  
CHEMTREC (from outside US) +1 703-527-3887 (call collect)  
CHEMTREC (within AU) +(61)-290372994
- ・使い方: 推奨用途及び使用上の制限試験研究用試薬

### 2 危険有害性の要約

- ・純物質または混合物の分類  
本製品はGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)により分類されていません。

- ・ラベル要素
- ・GHS ラベル要素 無効
- ・危険図表 無効
- ・表示語 無効
- ・危険文句 無効
- ・その他の危険性

プロダクトには有機化合物のハロゲン化合物 (AOX)、窒素、重金属化合物およびホルムアルデヒドが含まれていない

- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし

JP

(2ページに続く)

## JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(1ページの続き)

### 3 組成及び成分情報

- ・化学的特性: 混合物
- ・説明: 危険のない混ぜ合わせかたをした以下成分からなる混合物
- ・危険な含有成分: 無効

### 4 応急措置

- ・応急手当処置に関する説明
- ・吸入した場合 外気を送る、つらい場合には医師を呼ぶ
- ・皮膚に付着した場合 一般的にはこの製品は皮膚には刺激はない
- ・目に入った場合 瞼を開けたまま、流水で何分間か眼をすすぐ
- ・飲み込んだ場合 状態が好転しない場合には医師に相談する
- ・最も重要な急性及び慢性の症状及び影響 追加的な関連情報は得られていません。
- ・何らかの即時医療処置及び特別治療の必要性を示す兆候 追加的な関連情報は得られていません。

### 5 火災時の措置

- ・消火剤
- ・消火剤 周囲の状況に合わせた消火措置を取る
- ・本化学物質または混合物から発生する特別な危険性 追加的な関連情報は得られていません。

### 6 漏出時の措置

- ・個人的予防措置、保護具及び応急処置法 必要ない
- ・環境関連予防措置:
  - 河川、下水処理施設に流れ込んだ場合には関係当局に連絡する
  - 下水処理施設、地上水あるいは地下水に達しないようにする
- ・封じ込め及び浄化のための方法及び材料:
  - 液体吸収材 (砂、珪藻土、酸結合剤、ユニバーサル結合剤、おがくず) で吸収する
- ・他のセクションへの言及
  - 安全な取り扱い方に関しては 7 項を参照
  - 人の保護装備の情報に関しては 8 項を参照
  - 廃棄処分に関しては 13 項参照

### 7 取扱い及び保管上の注意

- ・技術的対策
  - 接触回避などの安全取扱い注意事項
- ・安全操作のための予防措置 特別な措置は必要ない
- ・火災および爆発防止に関する注意事項: 特別な措置は必要ない
- ・混融危険性を含めた安全貯蔵条件
- ・保管:
  - 局所排気・全体換気 特別な要求事項なし
  - 同じ場所に保管する際の注意事項: 必要ない

(3ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(2ページの続き)

- ・保管条件に関するその他の注意事項: ない
- ・特定の最終用途 追加的な関連情報は得られていません。

### 8ばく露防止及び保護措置

- ・設備対策 その他の申し立てなし、7項参照
- ・管理パラメーター
- ・許容濃度(暴露限界値、生物学的暴露指標)  
このプロダクトは作業場において監視する必要のある限界値を持つ成分は含まれていない
- ・追加注意事項: 生成時に有効なリストがもとなっている
- ・暴露管理
- ・保護具
- ・衛生対策 化学製品を取り扱う際の一般的な注意事項を厳守のこと
- ・呼吸器の保護具 必要ない
- ・手の保護具  
手袋の材質は物質/材料/調合剤に対して耐性であり、成分を通すことがあってはならない  
浸透時間、透過性および劣化の点を留意しながら手袋の材質を選択する
- ・手袋材  
適当な手袋は材質だけではなく、その他の品質によっても変わり、各メーカーによって異なる。調合する際の物質は複数の成分から生成されるため、手袋材の耐久性は予想できない。このため使用前には必ずチェックしなければならない
- ・手袋材の浸透時間 正確な浸透時間については保護手袋メーカーに問い合わせ、それを遵守すること
- ・眼の保護: 詰め替えの際には保護めがねの装着が望ましい

### 9 物理的及び化学的性質

- ・基本的な物理及び化学特性に関する情報
- ・一般指示事項
- ・外観
 

外観(物理的状态 色など)	液体 透明
臭い	無臭
嗅覚閾値	決まっていない。
- ・pH-値: 決まっていない。
- ・融点・凝固点
 

融点/融解範囲:	決まっていない
沸点、初留点及び沸騰範囲	100 °C
- ・引火点 情報なし
- ・燃焼性(固体、ガス) 情報なし
- ・分解温度: 決まっていない。
- ・自然発火性: プロダクトは自然発火しない
- ・蒸気圧  
プロダクトは爆発する危険はない  
決まっていない。

(4ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(3ページの続き)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・燃焼又は爆発範囲の上限・下限</li> <li>  下限: 決まっている。</li> <li>  上限: 決まっている。</li> </ul>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・蒸気圧 約 20 °C</li> </ul>	23 hPa
<ul style="list-style-type: none"> <li>・約 20 °C</li> <li>・比重(相対密度)</li> <li>・蒸気密度</li> <li>・蒸発速度</li> </ul>	1 g/cm <sup>3</sup> 決まっている。 決まっている。 決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶解度</li> <li>  水:</li> </ul>	混ぜ合わせられない、ほとんど混ぜ合わせられない
<ul style="list-style-type: none"> <li>・分配係数 (n-オクタノール/水):</li> </ul>	決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・粘性:</li> <li>  力学的:</li> <li>  運動性:</li> </ul>	決まっている。 決まっている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・溶剤含有量:</li> <li>  水:</li> <li>・他の情報</li> </ul>	100.0 % 追加的な関連情報は得られていません。

## 10 安定性及び反応性

- ・反応性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・化学的安定性
- ・熱分解/回避すべき条件: 規定どおりの使用では分解しない
- ・危険反応の可能性 危険な反応は起きていない
- ・避けるべき条件 追加的な関連情報は得られていません。
- ・不適合物質: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・危険な分解生成物: 危険な分解プロダクトはない

## 11 有害性情報

- ・毒性学的影響に関する情報
- ・急性毒性
- ・初期刺激作用:
- ・皮膚腐食性・刺激性 刺激作用はない
- ・眼に対する重篤な損傷 刺激はない
- ・呼吸器感作性又は皮膚感作性 感作作用はない
- ・毒性に関する補足注意事項:  
 調査に関する E U の最新の一般分類ガイドラインの計算方式によれば、プロダクトには分類義務はない  
 我々の経験並びに我々に提供された情報によれば、専門家知識を持って規定に従った使いかたをした場合には健康に  
 影響を及ぼす作用はない

JP  
(5ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(4ページの続き)

## 12 環境影響情報

- ・ 毒性
- ・ 水生生物に対する毒性: 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 持続性及び分解性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 環境システムにおける作用:
- ・ 生体内蓄積能 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ 土壌内移動性 追加的な関連情報は得られていません。
- ・ その他のエコロジーに関する注意事項:
- ・ 一般注意事項: 一般に水の危険要因ではない
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質)及びvPvB(高残留性、高生物濃縮性物質)アセスメント
- ・ PBT(残留性、生物濃縮性、毒性物質): 情報なし
- ・ vPvB(高残留性、高生物濃縮性物質): 情報なし
- ・ 他の副作用 追加的な関連情報は得られていません。

## 13 廃棄上の注意

- ・ 廃棄物処理方法
- ・ 勧告: 少量なら、家庭ゴミと共に処分することができる
- ・ 汚染容器及び包装
- ・ 勧告: 関係当局の規則に従って処分する

## 14 輸送上の注意

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連番号</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国連出荷正式名</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸送の危険性クラス</li> <li>・ ADR, ADN, IMDG, IATA</li> <li>・ 分類</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 容器等級</li> <li>・ ADR, IMDG, IATA</li> </ul>	無効
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 海洋汚染物質</li> <li>・ 海の汚染物質:</li> </ul>	いいえ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ユーザー用特別予防措置</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ マルポール条約(MARPOL73/78) 付属書II及びIBCコードに準じたバルク輸送</li> </ul>	情報なし
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ UN "模範規制:</li> </ul>	Non regulated according to above specifications. 無効

JP  
(6ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(5ページの続き)

**15 適用法令**

・ 該当純物質または混合物に対する安全、衛生及び環境規制・法律

7732-18-5	Water		99.9999%
58-08-2	カフェイン	⚠ 急性毒性(経口) 区分4, H302	0.0001%

・ 化審法

・ 既存化学物質

58-08-2	カフェイン		9-419
---------	-------	--	-------

・ 特定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 監視化学物質、旧第二種監視化学物質、旧第三種監視化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 優先評価化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ 白物質

内容成分はリストアップされていない

・ 既存化学物質安全性点検結果(分解性・蓄積性)

内容成分はリストアップされていない

・ 既存化学物質安全性点検結果(毒性)

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR Class 1 designated substances

PRTR 制度 - 第一種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ PRTR Class 2 designated substances

PRTR 制度 - 第二種指定化学物質

内容成分はリストアップされていない

・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Deleterious Substances

毒物及び劇物取締法 - 劇物

内容成分はリストアップされていない

・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Poisonous Substances

毒物及び劇物取締法 - 毒物

内容成分はリストアップされていない

・ Poisonous and Deleterious Substances Control Act - Specified Poisonous Substances

毒物及び劇物取締法 - 特定毒物

内容成分はリストアップされていない

・ 労働安全衛生法

・ 危険物

・ 爆発性の物(施行令別表第1第1号)

内容成分はリストアップされていない

・ 発火性の物(施行令別表第1第2号)

内容成分はリストアップされていない

(7ページに続く)

JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(6ページの続き)

・酸化性の物(施行令別表第1第3号)
内容成分はリストアップされていない
・引火性の物(施行令別表第1第4号)
内容成分はリストアップされていない
・可燃性のガス(施行令別表第1第5号)
内容成分はリストアップされていない
・特定化学物質等
・第一類物質
内容成分はリストアップされていない
・第二類物質
内容成分はリストアップされていない
・第三類物質
内容成分はリストアップされていない
・名称等を通知すべき有害物(別表第9)
内容成分はリストアップされていない
・製造許可物質
内容成分はリストアップされていない
・鉛中毒予防規則(施行令別表第4)
内容成分はリストアップされていない
・四アルキル鉛中毒予防規則(施行令別表第5)
内容成分はリストアップされていない
・有機溶剤中毒予防規則第(施行令別表第6の2)
・第一種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第二種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・第三種有機溶剤等
内容成分はリストアップされていない
・強い変異原性が認められた化学物質
内容成分はリストアップされていない

・国内規定:

・使用上の制約に関する注意事項:

被用者はこの危険成分に暴露されてはならない。ただし、場合に応じて関係当局が例外許可をおろすこともある

・水質危険等級: 一般に水に有害ではない

・化学物質の安全性評価: 化学物質安全性評価が遂行されていない

16 その他の情報

本製品安全データシートにおいて提供されている情報は、当社の現在の知見に基づくものであり、公表日において正しいと信じております。但し、その正確性及び完全性に関しては、いかなる表示も行うものではありません。それは、ガイダンスとして意図されているに過ぎず、保証又は品質規格とみなされるべきものではありません。全ての化学物質は未知の危

(8ページに続く)



JIS Z 7253:2012 による

印刷日: 2019.02.15

改訂日: 2019.02.15

化学物質等の名称 STD-CAFFEINE LCMS GRD 1 PG/UL 2ML

(7ページの続き)  
険性を含むおそれがあり、注意して取り扱わなければなりません。特定の危険性については記載されますが、存在する危険性はそれに限定されることを保証することはできません。PerkinElmer Health Sciences, Incは、本製品の取扱又は接触到に起因する損害につき責任を負いません。

・データシート作成部門: Environmental, Health and Safety

・問い合わせ先:

Within the USA: 1-(800)-762-4000

Outside the USA: 1-(203)-712-8488

JP